

Préludes Livre II "Ondine"
前奏曲第2巻より〈オンディーヌ〉
C. Debussy (1862-1918)
C. ドビュッシー

6 Encores "Wasserklavier"
《6つのアンコール》より〈水のクラヴィア〉
L. Berio (1925-2003)
L. ベリオ

Miroirs "Une barque sur l'Océan"
《鏡》より〈洋上の小舟〉
M. Ravel (1875-1937)
M. ラヴェル

Cailloux dans l'eau
水の中の小石
T. Murail (1947-)
T. ミュライユ

幕間劇
《Ce qui embellit le désert, 》
《砂漠が美しいのは、》

Deux Arabesques II
《2つのアラベスク》より第2番
C. Debussy (1862-1918)
C. ドビュッシー

Les Naiades et le Faune Indiscret
水の精と不謹慎な牧神
D. Séverac (1872-1921)
D. セヴラック

Images Livre I "Reflets dans l'eau"
《映像》第1集より〈水の反映〉
C. Debussy (1862-1918)
C. ドビュッシー

幕間劇
《It keeps raining》
《雨は降り続ける》

La mer, trois esquisses symphoniques pour orchestre
《海 - 管弦楽のための3つの交響的素描 - 》作曲者自身による1台4手編曲
C. Debussy (1862-1918)
C. ドビュッシー

Jeux d'eau
水の戯
M. Ravel (1875-1937)
M. ラヴェル

Préludes Livre I "Ondine"
前奏曲第1巻より〈オンディーヌ〉
C. Debussy (1862-1918)
C. ドビュッシー

ピアノ演奏 × 空間演出

N-oval 音楽サロン

2024.7.28 (日)

開場 13:30 開演 14:00

全席自由：3000 円

助成：(公財) 仙台市市民文化事業団

協賛：(有) 松尾弦楽器

後援：桐朋学園音楽部門同窓会、日本ショパン協会東北支部

大塚智恵 / Piano

八巻梓 / Piano

細萱航平 / Stage Director



予約はこちらから

問い合わせ
azusamusic31@gmail.com

大塚智恵 / Chie Otsuka



桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部卒業。ケルン舞踏音楽大学修士課程ピアノ科、現代音楽ピアノソロ科修了。在学中室内楽、即興や指揮も学ぶ。これまで鹿児島交響楽団などのオーケストラと共演。鹿児島市春の新人賞受賞。DAAD 奨学制度にてフランス・ロワエモン現代音楽講習会に参加、ドイツ・ヴッパータール市ロータリークラブより奨学金を受ける。

東京、鹿児島、ドイツ各地でピアノソロ・デュオリサイタルを開催し、ドイツ・ボン音楽祭、ケルンでのアハトブリュッケン現代音楽祭などにも参加。イタリアやフランスにて現代音楽室内楽のメンバーとしても演奏。

多くの若手作曲家の新作初演にも携わる。現在ドイツ・ヴッパータール市、モンハイム市音楽学校にてピアノ講師。片野田音楽アカデミー客員演奏家・客員講師・ドイツ支部長。グレンツェンピアノコンクール、クラシック音楽コンクール審査員。

ピアノを片野田郁子、吉村真代、フローレンス・ミレーの各氏に師事。



ウェブサイト

八巻 梓 / Azusa Yamaki



桐朋女子高等学校卒業、桐朋学園大学音楽学部、パリ地方音楽院を経て、プリンス・クラウド音楽院（オランダ）修了。さらに同音楽院にて、ハーブシコード、フォルテピアノも学ぶ。

これまでに仙台とオランダでのピアノソロリサイタル開催、ルーマニア国内の交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。オランダ留学中には、プログラムに応じて複数の歴史的楽器を使う演奏会も企画、出演。また、宮城県美術館主催、令和四年度公演会に出演、墨象とコラボレーションし好評を博す。現在、後進の指導にあたりながら、ソロや室内楽をはじめ、伴奏ピアニストとしても積極的に演奏活動を行う。

ピアノを松本映子、富永睦子、竹内啓子、本村久子、故御木本澄子、ジャン＝マリー・コテ、ポール・コーメンの各氏に、ハーブシコードおよび通奏低音をヨハン・ホフマン氏に、フォルテピアノをポール・コーメン氏に、楽曲分析を佐々木隆二氏に師事。MHKS アーティスト会員。



ウェブサイト

細萱航平 / Kohei Hosogaya

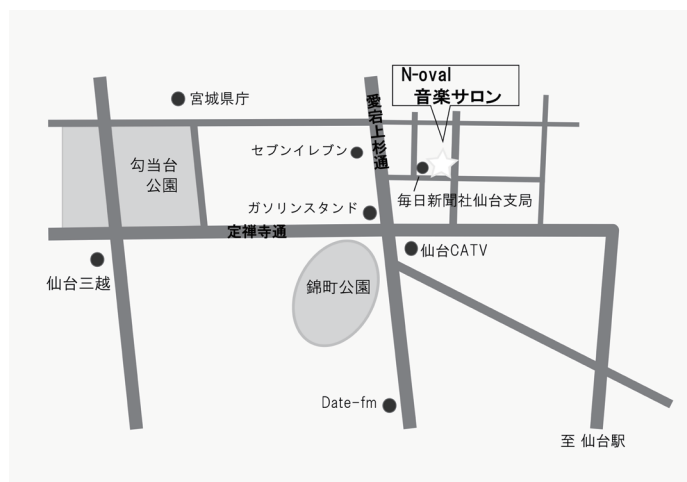


広島市立大学大学院芸術学研究科博士後期課程総合造形芸術専攻修了。彫刻家。モノや場所、現象を感覚することを通じて過去を対象取るとき、身体が介在することによって生じる知覚と認識の不調和から、世界と人間を考える。自然災害に関わるモニュメントや地質学による地球史推測の方法を参考にしながら、彫刻やインスタレーション、あるいは展覧会のキュレーションなどとしてプロジェクトを展開する。自然災害に関わるモニュメントの研究および制作実践と、それに関わる展覧会のキュレーションで博士号を取得。

主な展覧会に、「トライアル・ギャラリー 2023」（伊那文化会館／伊那、日本、2023）、また主なキュレーションに「災禍とモノと物語り展」（広島市立大学芸術資料館／広島、日本、2019）がある。近年は地質学の研究にも携わり、自然史博物館との協働による展覧会「川内地域の地質の表象」（青葉の風テラス／仙台、日本、2023）をキュレーションした。



ウェブサイト



N-oval 音楽サロン

〒980-0012

仙台市青葉区錦町 1-5-1 N-oval ビル 1 階

JR 仙台駅より：徒歩約 15 分 / タクシー約 6 分

地下鉄勾当台公園駅より：徒歩約 10 分

駐車場はございませんので、お近くのコインパーキングをご利用ください。

問い合わせ先 azusamusic31@gmail.com